

上越市で定期総会

県内20市監査委員会

新潟県都市監査委員会定期総会が十六、十七の両日、上越市で開かれた。加盟する県内全二十市の監査委員や同事務局が参加。議事後、東京都の元港区長による講演を聞いた。

初日の総会で、上越市の代表監査委員、大原啓資さんは「自治体財政の厳しい中、行政が限られた財源を効率的に活用しているか見極めるのがわれわれの役目。市民の立場での監査を心掛けた」とあいさつ。議事で

昨年度の事業報告を受け

た後に、来年度の総会を三条市で開くことを決めた。

記念講演は、一級建築士で工学博士の元港区長、原田敬美さんが「技術の専門区長から見た監査活動への期待」と題して講演。区長に就任した際、公共工事の予算が膨

大化したり、巨額の費用を投じた事業が有効活用されていなかったりした現状を紹介。また、財政破たんした米国・ニューヨーク市や北海道夕張市の事例を示し、「監査や技術監査が適正に行われていれば、このようなことにはならなかった」と強調。「監査委員も首長と同程度の責任がある」として一層の職務精励を呼びかけた。

総会二日目は、上越、佐渡両市の監査委員から提案のあった研究議題について協議。上越火力発電所の視察も行った。

監査の重要性について講演する原田さん

